

進路だより 第7号

令和2年12月15日発行
宇都宮市立姿川中学校 進路指導部
文責：安藤 恵里子



私立高校の入学試験日が迫ってきました

12月も半ばになり冬休みが近づくとともに、3年生にとっては私立高校の入学試験日が迫ってきました。この時期の3年生は、休み時間に私立高校の過去問を解く姿も目立ってきます。

姿川中学校の生徒が受験する主な私立高校の入学試験日及び合格発表日は、以下のとおりです。

高等学校名	入学試験日	合格発表日
宇都宮短期大学附属高等学校	1月4日(月)か1月5日(火)	1月9日(土)
作新学院高等学校	1月6日(水) 総合進学部・情報科学部 1月7日(木) 英進部	1月11日(月・祝)
文星芸術大学附属高等学校 宇都宮文星女子高等学校	1月7日(木) 3教科マーク式 1月9日(土) 5教科記述式	1月12日(火)
國學院大學栃木高等学校	1月6日(水)	1月12日(火)
佐野日本大学高等学校	1月6日(水)	1月8日(金)

上の表で分かるように、年が明けたらすぐに入学試験が始まります。1・2年生も1年後もしくは2年後に私立高校の入学試験を受ける人がほとんどだと思われます。「遊べるのは今だけ」と考えるか、そのときに備えてシミュレーションしておくか。その違いは大きいかもしれません。

3年生は、これまで以上に気を引き締めて勉強に励むとともに、校内・校外ともに体調管理をしっかりとしてください。中学校の友達といられる時間も残り少なくなってきましたが、今は正念場です。インフルエンザ対策・新型コロナウイルス対策をしっかりと、万全の態勢で受験に臨んでほしいものです。



「高等学校就学支援金」について

高校に入学すると、中学校にいる以上に、お金がかかります。そのときに強い味方となるのが、国から支給される「高等学校就学支援金」です。2020年4月から、年収約590万円未満世帯を対象として、支給上限額が全国の私立高校の平均授業料を勘案した水準(私立高校(全日制)の場合、39万6,000円)まで引き上げられました。これにより、今までより多くの世帯が該当することになると考えられます。

手続きは高校入学後に行います(時折、中学校に問い合わせがありますが、中学校では分かりません)。また、就学支援金は、学校設置者(都道府県、学校法人等)が生徒本人に代わって受け取り、授業料に充てます。生徒や保護者が直接受け取るものではありません。

今年度、高校に問い合わせをして、はじめて理解したことがありました。「申請をしたら、4月からずっと授業料を支払わないで良い」というわけではなく、以下のような流れになっています。

- ①入学後4月に申請する。
- ②7月か8月に申請が通るまで、授業料は保護者が(ひとまず)負担する。
- ③前年度分の申請が通り、交付が決定したら、保護者の口座に就学支援金に該当する額が振り込まれる。
- ④7月で年度が切り替えになるので、(※控除証明をもらう時期を思い出してください)、再度申請する。
- ⑤交付が決定するまで、再度、授業料を保護者が(ひとまず)負担する。
- ⑥11月か12月ごろに交付が決定する。→ 交付決定まで負担していた分が振り込まれる。

ということだそうです。高校1年時は、結局12月ごろまでは授業料を一時的に負担することになります。後ほど(所得によっては)戻ってくるとはいえ、負担はあります。ご注意ください。

参考：https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/20200715-mxt_kouhou02_2.pdf